2023

龍谷大学特別研修講座

国際伝道者養成課程

（旧：開教使課程）

受講要項・シラバス

RYUKOKU UNIVERSITY 文学部

深草 Tel 075-645-7893

大宮 Tel 075-343-3317

RYUKOKU UNIVERSITY

□「国際伝道者養成課程」開設の目的

本課程は、広く国際的な素養として外国語で仏教・浄土真宗を学修することや、海外の仏教事情に関心を持つ方を対象にした課程であり、また同時に、将来浄土真宗本願寺派の海外開教区で伝道者として活躍できる人材の養成を目的としています。

この課程を学修することによって、国際的な宗教実践の場で必要な外国語（特に英語）によるコミュニケーション力を身につけることができ、国際的な視野を持った真宗・仏教の伝道者となるための知識を修得することができます。

なお、将来的に浄土真宗本願寺派の開教使の職に就くためには、浄土真宗本願寺派寺院活動支援部（国際伝道担当）が主催する講座を受講する必要があり、本課程を修了することで浄土真宗本願寺派が実施する「開教使養成講座」や「国際伝道者養成プログラム＜略称：IMOP>」を受講するための幅広い基礎力をつけることができます。

浄土真宗本願寺派の講座については寺院活動支援部（国際伝道担当）に直接問い合わせるか、文学部教務課に相談してください。

浄土真宗本願寺派　寺院活動支援部（国際伝道担当）
〒600－8341　京都市下京区東中筋六条下ル学林町 303-1　本願寺国際センター内
【TEL】075－371－5547　【HP】http://international.hongwanji.or.jp/jp/

□ 受講対象

（1）本学学生
（2）学外者（国際伝道者養成課程委員会が認める者）

※　但し、短期大学部生の受講可能科目は 1、2 年次生対象開講科目のみです。また、学外者受講については、国際伝道者養成課程委員会で審査のうえ、受講の可否を判断します。

※　希望者多数の場合は科目の性格上、受講者を選考する場合があります。

□ 講座募集定員

各科目　約 20 名　※新型コロナウイルス感染拡大等により、受講人数の制限を行うことがあります。

□ 講座開講日程

2023 年 4 月 7 日（金）～2024 年 1 月 20 日（土）　**☆正課科目と同様です。**

□ 講座受講料

1 科目　**3,300 円（税込）**　※正課科目として登録した科目の受講料は無料です。（文学部生のみ）

□ 講座申込期間

【前期】　2023 年 4 月 3 日（月）～2023 年 4 月 21 日（金）（対象：前期科目、後期科目）

【後期】　2023 年 9 月 8 日（金）～2024 年 9 月 29 日（金）　（対象：後期科目）

※ 申込までの仮受講は可能ですが、受講する意思がある場合は、必ず申し込みを行ってください。

□ 講座申込方法

■本学学生の場合：学生証を使用し、証明書自動発行機にて「特別研修講座国際伝道者養成課程受講申込書」を購入し、必要事項を記入し申込窓口に提出。

■学外者の場合：文学部教務課窓口にて「学外者用受講申込書」を受け取り、証明書自動発行機にて「特別研修講座国際伝道者養成課程受講申込書」を購入し、全ての用紙に必要事項を記入し申込窓口に提出。

■申　込　窓　口：文学部教務課（大宮・深草）

※正課科目の登録とは異なります。web による登録はできません。（教義学講読 D1、D2 は除く）

※正課科目の「受講登録確認表」に本課程の科目は記載されません。（教義学講読 D1、D2 は除く）

□ 2023 年度開講科目一覧

科目名	担当者名	年次	開講期	曜講時	学舎	教室
国際伝道基礎演習 1	本多　彩	1～	前期	月 5	深草	4-403
国際伝道基礎演習 2	本多　彩	1～	後期	月 5	深草	4-403
国際伝道基礎演習 3	釋氏　真澄	1～	前期	火 6	大宮	東黌 206 教室
国際伝道基礎演習 4	今井　慶哉	1～	後期	火 6	深草	4-403
英文仏典講読 1 （教義学講読 D1）　※注 1	桑原　昭信	3～	前期	金 5	大宮	西黌 102 教室
英文仏典講読 2 （教義学講読 D2）　※注 1	桑原　昭信	3～	後期	金 5	大宮	東黌 210 教室
国際伝道演習 1	葛野　洋明	3～	前期	木 6	大宮	東黌 206 教室
国際伝道演習 2	葛野　洋明	3～	後期	木 6	大宮	東黌 206 教室
国際伝道演習 3	嵩　満也	3～	前期	木 5	大宮	東黌 206 教室
国際伝道演習 4	嵩　満也	3～	後期	木 5	大宮	東黌 206 教室

※注 1：英文仏典講読 1 および 2 は、文学部専攻科目「教義学講読 D1」および「教義学講読 D2」と合併して開講します。ただし「教義学講読 D1」および「教義学講読 D2」として受講できるのは、文学部生のみとし、正課科目として登録する場合、所定の履修登録期間に本登録を行ってください。なお、修得した単位は卒業要件単位として算入されます。
※注 2：教室は変更になる場合がございます。

□ 国際伝道者養成課程受講者　推奨科目

以下の科目は、国際伝道者を目指す上で基礎的素養を修得するために履修することが望ましい科目です。なるべく履修するようにしてください。

【科目登録は、正規の科目として登録のこと／なお、文学部・文学研究科に限ります】

科目名	講義テーマ（複数開講のうち一例）	備考
Oral Communication　ⅡA	USEFUL ENGLISH IDIOMS Life, Death, Love & English in E.R	
Oral Communication　ⅡB		
Oral Communication　ⅢA	Advanced Speaking in English	
Oral Communication　ⅢB	More English Conversation	
English　Academic　WritingⅡA	Academic Writing: Intermediate Another Country	事前登録科目
English　Academic　WritingⅡB	Academic Writing: Intermediate Another Country	
真宗伝道学特殊研究 （海外研修科目）	ハワイにおける真宗伝道の実践的研究	○大学院生対象 ○事前申込要

※詳細は、web シラバスを確認してください

□ 成績表交付

受講者全員に「成績表」を交付します。ただし、国際伝道者養成課程での修得科目は卒業要件単位には換算されません。（正課科目として登録した科目は除く）

□「国際伝道者養成課程」課程修了要件

（1）開設科目を全て修得した者　（2018 年度以降受講開始者対象）

（2）「開教使課程」開講科目（旧課程科目）で修得した科目の「国際伝道者養成課程」開講科目（新課程科目）への読替を含め、開設科目を全て修得した者（2017 年度以前受講開始者対象）

□「開教使課程」開講科目（旧課程科目）の「国際伝道者養成課程」科目（新課程科目）への読替【2018年度以降開講科目への読み替え】

「開教使課程」開講科目名（旧課程）				「国際伝道者養成課程」開講科目名（新課程）		
必修	①	仏教英語演習（会話Ⅰ）　※1	→	必修	①	国際伝道基礎演習 1
					②	国際伝道基礎演習 2
	②	仏教英語演習（会話Ⅱ）　※1	→		③	国際伝道基礎演習 3
					④	国際伝道基礎演習 4
	③	英文仏典講読	→		⑤	英文仏典講読 1
					⑥	英文仏典講読 2
	④	英会話	→			廃止
	⑤	開教演習Ⅰ　※2　※3	→		⑦	国際伝道演習 1
					⑧	国際伝道演習 2
	⑥	開教演習Ⅱ　※2　※3			⑨	国際伝道演習 3
	⑦	開教演習Ⅲ　※2　※3			⑩	国際伝道演習 4

※1　旧課程科目で継続履修中であり、1 ヵ年分のみ合格している者は、新課程科目の前期または後期開講の科目のうち 1 科目に合格することで読替とする

※2　旧課程科目「開教演習Ⅰ」を継続履修中であり、1 ヵ年分のみ合格している者、および「開教演習Ⅱ」「開教演習Ⅲ」のいずれか 1 科目を合格している者は、新課程科目の演習科目（⑦～⑩）のうち 2 科目に合格することで読替とする

※3　旧課程科目「開教演習Ⅰ～Ⅲ」を 2 科目以上合格、または「開教演習Ⅰ」を継続履修し合格している者は、新カリキュラムの演習（⑦～⑩）に読替する
演習科目の読替にあたっては読替希望科目を学生が申し出、国際伝道者養成課程委員会が承認する

科目名	国際伝道基礎演習１	開講曜講時	前期 月５
サブタイトル	国際伝道の基礎知識	開講キャンパス	深草
担当者	本多 彩	配当年次	1年次以上
備考			

■講義概要■

国際伝道の基礎知識

■目的・ねらい■

多様な言語を用いて仏教・真宗を理解するために必要な基礎力を身につけます。この講義では、基礎的な仏教要語を、英語で表現できる力を習得することを目指します。さらに、国際伝道の概要や現状を学び、理解します。

■講義方法■

講義を中心とします。講義中に資料やテキストを配布します。ディスカッションや学習のふりかえりを行いながら、仏教要語の習得および国際伝道の実際について理解を深めます。

■講義計画■

第1回・第2回　浄土真宗本願寺派の国際伝道、海外開教概論
第3回～第5回　海外の伝道、ダイヴァーシティ
第6回～第9回　英語で仏教・真宗を伝える
第10回～第13回　英語圏での仏教要語の活用と伝道の現場
第14回・第 15 回　国際伝道の実際、まとめ

■成績評価の方法■

授業への積極的な参加（50%）
レポート・課題・発表（50%）

■テキスト■

特に用いません。講義内で配布します。

■参考文献■

国際仏教文化協会『ヨーロッパに広がるお念仏』永田文昌堂 2010 年
The Collected Works of Shinran　本願寺出版社 2004 年

■履修上の注意・担当者からの一言■

授業への積極的な参加を期待します。履修学生からの希望や要望があればそれらを反映させながら授業を進めたいと思います。

科目名	国際伝道基礎演習２	開講曜講時	後期　月５
サブタイトル	国際伝道の基礎知識	開講キャンパス	深草
担当者	本多　彩	配当年次	1年次以上
備考			

■講義概要■

国際伝道の基礎知識

■目的・ねらい■

多様な言語を用いて仏教・真宗を理解するために必要な基礎力を身につけます。この講義では、基本的な仏教思想・真宗教義を、英語を用いて表現する力を習得することを目指します。さらに、国際伝道の歴史や現状を学び、理解します。

■講義方法■

講義を中心とします。毎回の講義では資料やテキストを配布します。ディスカッションや学習のふりかえりを行います。仏教思想や真宗教義を他言語（英語）で習得し、さらに国際伝道に必要な知識について理解を深めます。

■講義計画■

第1回・第2回　海外の仏教事情、国際伝道の歴史
第3回～第6回　英語で伝道　仏教
第7回～第10回　英語で伝道　真宗
第11回～第13回　海外の寺報に見る国際伝道
第14回　国際伝道のこれから
第15回　発表・まとめ

■成績評価の方法■

授業への積極的な参加（50%）
レポート・課題・発表（50%）

■テキスト■

特に用いません。講義内で配布します。

■参考文献■

The Collected Works of Shinran　本願寺出版社 2004 年
Kenneth K. Tanaka, *Ocean*. Berkeley: Wisdom Ocean Publications, 1997.

■履修上の注意・担当者からの一言■

授業への積極的な参加を期待します。履修学生からの希望や要望があればそれらを反映させながら授業を進めたいと思います。

科目名	国際伝道基礎演習３	開講曜講時	前期　火６
サブタイトル	国際伝道入門	開講キャンパス	大宮
担当者	釋氏　真澄	配当年次	１年次以上
備考			

■講義概要■

国際伝道の基礎知識

■目的・ねらい■

多様な言語を用いて仏教・真宗を理解するために必要な基礎力を身につけます。この講義では、基本的な仏教思想・真宗教義を、多様な言語を用いて表現する力を習得することを目指します。

■講義方法■

毎回の講義で資料・テキストを配布します。パワーポイントや映像を用い、講義中心に進行します。またディスカッションもテーマにより適宜実施します。

本講義は、欧米における真宗国際伝道に関する知識を深めることを目的としますが、特に開教元年から百年以上経過する英語圏の三開教区（アメリカ本土〈BCA〉・ハワイ・カナダ）の真宗伝道と、現地での布教実践・宗教儀礼の実例に焦点をあてます。さらにヨーロッパにおける真宗伝道についても紹介していきます。

なお、本講義は日本語でおこないますが、現地の英語資料も適宜用いることで、国際伝道で使用される英語表現に親しみ習得することも目指します。

■講義計画■

第１回　ガイダンス
第２回　ハワイにおける真宗伝道
第３回　アメリカ本土における真宗伝道①
第４回　アメリカ本土における真宗伝道②
第５回　カナダにおける真宗伝道
第６回　英語圏における真宗布教実践①
第７回　英語圏における真宗布教実践②
第８回　英語圏における真宗布教実践③
第９回　英語圏における真宗儀礼①
第 10 回　英語圏における真宗儀礼②
第 11 回　日本仏教のアメリカ化：禅宗・真宗の比較
第 12 回　ヨーロッパにおける真宗伝道①
第 13 回　ヨーロッパにおける真宗伝道②
第 14 回　アメリカにおける BCA 研究
第 15 回　まとめ

■成績評価の方法■

平常点（出席状況・受講態度・授業への積極的参加）（80％）、
レポート（20％）

■テキスト■

特に用いません。講義内でプリントを配布します。

■参考文献■

講義時に適宜紹介します。

■履修上の注意・担当者からの一言■

開教使を志す方、国内で外国人向けに真宗・仏教を紹介したい方、国内真宗伝道の新たなヒントを得たい方等、英語の知識も不要ですのでお気軽にご参加ください。
欧州留学（ドイツ惠光寺）や、開教使（カナダ）としての経験談も織り交ぜながら、国際伝道の実際や日常に関しても触れたいと思います。疑問等がございましたら、ご質問・ご相談ください。

科目名	国際伝道基礎演習４	開講曜講時	後期 火6
サブタイトル	国際伝道入門	開講キャンパス	深草
担当者	今井 慶哉	配当年次	２年次以上
備考			

■講義概要■

国際伝道入門 ― 南米開教区（ブラジル）の文化事情等を踏まえて―

■目的･ねらい■

多様な言語を用いて伝道するために必要な基礎的コミュニケーション力、異文化理解力を身につけることを目指します。この講義では、海外開教区での活動の実例を取り上げて、学びを深めます。

■講義方法■

国際伝道は、その舞台となる国をまずしっかりと理解することから始まる。日本との違いを明確に理解し、その国の文化・宗教・人間をリスペクトすることから、真宗伝道の可能性を見出す。そこから、国際伝道者としての自身の方向性とそのための準備方法を探る。この授業においては、南米開教区本部があり、37 カ寺が存立するブラジルを事例に取りあげる。

■講義計画■

1. ブラジルについて（1）：食・音楽・宗教
   多様な民族の集まりから生み出されるブラジルの食文化は実に豊富。また、ボサノバ・サンバなど世界的にポピュラーな音楽とその土台となる宗教文化についても紹介。
2. ブラジルについて（2）：習慣・民族性
   独特かつ多様な習慣や文化から生み出される世界的にも寛大な特徴を持つブラジルの民族性について紹介。
3. ブラジルについて（3）：スポーツ・自然
   言わずと知れたサッカー大国のブラジル。その実態と繁栄の根拠について紹介。また。広大な国土に広がる豊かで多様な自然環境についても紹介
4. ブラジルについて（4）：言語―ポルトガル語
   ブラジルの公用語・ポルトガル語は、日本語の発声音に近く、歴史的にも関係性が深い。その基本的表現や発声法を紹介。渡航希望者用の自製ガイドブックも配付。
5. 世界とつながる浄土真宗
   海外で世界最大の日系社会（約 200 万人）を有するブラジル。そこに根付く日本の伝統仏教と浄土真宗の存在について紹介。
6. ブラジルでの仏教・真宗を伝えるということ・・・
   ブラジルの広大な大地で展開される新しい形の仏教の波、そして真宗の広がりについて紹介
7. 国際伝道者・開教使への道
   ブラジル（または南米の他国）や他の開教区で活躍する、日本から派遣される開教使としての道への誘い。

■成績評価の方法■

平常点（70%）受講姿勢・ディスカッションなどから評価　　レポート（30%）

■テキスト■

開教区や他宗派（他宗教含む）の国際伝道を紹介するプリントやメディアなど。

■参考文献■

『オブリガード　南米開教体験記』高田慈昭（元開教総長）　百華苑、1996 年

■履修上の注意･担当者からの一言■

全開教区（北米･ハワイ･カナダ･南米）を視野に、また開教地（ネパール等）や未開教地域にまで視野をひろめ、ある程度自身の目標を定めスキルを身に付けるようにしてほしい。学外でも関連性のある様々な体験をしてもらいたい。

科目名	英文仏典講読 1	開講曜講時	前期 金5
サブタイトル	浄土真宗聖典の英訳テキスト講読(和語聖教)	開講キャンパス	大宮
担当者	釋氏 真澄	配当年次	3 年次以上
備考	学部専攻科目(教義学講読 D1)として受講できるのは、文学部生のみ(本登録が必要) 本科目は、「対面授業」として実施します。ただし、「国際伝道者養成課程」としての受講は 5 名を上限とします。		

■講義概要■

親鸞聖人の和語聖教や、蓮如上人の『御文章』などの英訳テキストを講読します。 また、この英訳テキストが広く用いられている、浄土真宗本願寺派の海外開教についても適時紹介します。

D1(前期)においては、特に浄土真宗本願寺派の海外開教区(ハワイ、北米、カナダ)の歴史や現状について理解を深めていただきます。

■目的・ねらい■

浄土真宗聖典の英訳テキストの精読を通して、国際的な宗教理解の場で必要となる真宗教義の理解を深める。

■講義方法■

パワーポイントと配付資料を用いながら講義形式で進行します。また適宜、受講者全体でのディスカッションや発表等をおこなっていただきます。

■講義計画■

回 数 Lecture	学修内容 Contents of the learning
1 回目	ガイダンス
2 回目	浄土真宗の国際伝道
3 回目～5 回目	親鸞聖人の言葉より①(「和讃」)
6 回目～8 回目	親鸞聖人の言葉より②(「御消息」)
9 回目～11 回目	親鸞聖人の言葉より③(『歎異抄』)
12 回目～14 回目	蓮如上人の言葉より(『御文章』)
15 回目	まとめ

■成績評価の方法■

平常点 (50%) 出席状況・受講態度。

レポート(50%) 期末に出題。

■テキスト■

『The Collected Works of Shinran』

『浄土真宗聖典(註釈版)』

その他、講義内で適宜指示します。

■参考文献■

講義内で適宜紹介します。

■履修上の注意・担当者からの一言■

英語が苦手な方でも、どうかお気軽にご受講ください。

私自身、ドイツの真宗寺院で1年間研修し、カナダの真宗寺院で開教使として6年間国際伝道に携わりました。

専門はアメリカ(英語圏)における真宗伝道研究です。現地での経験談もお話ししたいと思います。

科目名	英文仏典講読 2	開講曜講時	後期 金5
サブタイトル	浄土真宗聖典の英訳テキスト講読(漢語聖教)	開講キャンパス	大宮
担当者	釋氏 真澄	配当年次	3 年次以上
備考	学部専攻科目(教義学講読 D2)として受講できるのは、文学部生のみ(本登録が必要) 本科目は、「対面授業」として実施します。ただし、「国際伝道者養成課程」としての受講は 5 名を上限とします。		

■講義概要■

浄土真宗聖典に掲載される浄土三部経、七祖聖教、親鸞聖人の漢語聖教などの英訳テキストを選んで講読していきます。

また、これらの英訳テキストが広く用いられている、浄土真宗本願寺派の海外開教についても適時紹介していきます。D2(後期)においては、浄土真宗本願寺派の海外開教区(ハワイ、北米、カナダ)での英語法話にも実際に触れていただき、それぞれの理解を深めていただきます。

■目的・ねらい■

浄土真宗聖典の英訳のテキスト精読を通して、国際的な宗教理解の場で必要な真宗教義の理解を深めます。

■講義方法■

パワーポイントと配付資料を用いながら講義形式で進行します。また適宜、受講者全体でのディスカッションや発表等をおこなっていただきます。

■講義計画■

回数回数 Lecture	学修内容 Contents of the learning
1 回目	ガイダンス
2 回目	浄土真宗の国際伝道の概要
3 回目・5 回目	浄土三部経より①(『仏説無量寿経』)
6 回目・7 回目	浄土三部経より②(『仏説観無量寿経』)
8 回目	浄土三部経より③(『仏説阿弥陀経』)
9 回目～14 回目	親鸞聖人の言葉より(『教行信証』)
15 回目	まとめ

■成績評価の方法■

平常点 (50%) 出席状況・受講態度。

レポート(50%) 期末に出題。

■テキスト■

『The Collected Works of Shinran』

『浄土真宗聖典(註釈版)』

その他、講義内で適宜指示します。

■参考文献■

講義内で適宜紹介。

■履修上の注意・担当者からの一言■

英語が苦手な方でも、どうかお気軽にご受講ください。

私自身、ドイツの真宗寺院で1年間研修し、カナダの真宗寺院で開教使として6年間国際伝道に携わりました。専門はアメリカ(英語圏)における真宗伝道研究です。現地での経験談もお話ししたいと思います。

科目名	国際伝道演習１	開講曜講時	前期 木６
サブタイトル	国際伝道実践入門	開講キャンパス	大宮
担当者	葛野　洋明	配当年次	３年次以上
備考			

■講義概要■

国際伝道実践入門

■目的・ねらい■

国際的な真宗伝道のために必要な実践力を高めることを目的とします。この講義では、多様な言語による宗教儀礼の実演を中心に、海外開教区での布教実践の方法を学びます。

■講義方法■

国際伝道における実践面の一つ「儀礼」を中心にして、真宗儀礼の理論と実践に関する基礎的講義から始める。儀礼の実演指導も行う。演習の特徴を活かし、受講生が主体的に研究・発表し討議などを行う。

■講義計画■

第１回　ガイダンス

第２回　真宗儀礼の実演指導

第３回～第８回
真宗儀礼の理論〔講義と研究発表〕
「真宗儀礼論」「安心・起行・作業」
「報恩行」「助正論」「儀礼と伝道」

第９回～第 14 回
真宗儀礼の実践〔講義と研究発表〕
「本願寺派の儀礼」「本願寺派の葬儀」
「国際伝道における儀礼」
「メディテーション」「マインドフルネス」
「他宗教との対話」

第 15 回　国際伝道における真宗儀礼に関する研究発表

■成績評価の方法■

平常点（80%）　出席状況と演習への積極的な取り組み、研究発表等をもって評価する。

レポート（20%）　期末のレポート内容にて評価する。

■テキスト■

『聖典全書』、『註釈版』、

梯　實圓著『教行信証の宗教構造　真宗教義学体系』

桐溪順忍著 『救済の論理』、

勤式指導所（編集）『浄土真宗本願寺派　法式規範』、

本願寺仏教音楽・儀礼研究所（編集）『『浄土真宗本願寺派　葬儀規範』解説』

〔書誌情報の詳細は講義にて〕

■参考文献■

勤式指導所（編集）『浄土真宗本願寺派　葬儀規範』、その他〔書誌情報の詳細は講義にて〕

■履修上の注意・担当者からの一言■

グローバルな視野をもって、儀礼の重要性を改めて明らかに会得することができ、入門となる。

科目名	国際伝道演習 2	開講曜講時	後期 木６
サブタイトル	国際伝道実践入門	開講キャンパス	大宮
担当者	葛野　洋明	配当年次	3 年次以上
備考			

■講義概要■

国際伝道実践入門

■目的・ねらい■

国際的な真宗伝道のために必要な実践力を高めることを目的とします。この講義では、多様な言語による法話の実演を中心に、海外開教区での布教実践の方法を学びます。

■講義方法■

国際伝道における実践面の一つ「法話」を中心にして、真宗伝道（特に法話伝道）の理論と実践に関する基礎的講義から始める。法話の実演指導も行う。演習の特徴を活かし、受講生が主体的に研究・発表し討議などを行う。

■講義計画■

第 1 回　ガイダンス

第 2 回～第 8 回
真宗伝道（法話）の基礎〔講義と研究発表〕
「真宗伝道論」「法話の基礎」「法話実演」

第 9 回～第 14 回
真宗伝道（法話）の実践〔講義と実演発表〕
「英語法話聴聞」「英語法話分類」
「法話の実演」

第 15 回
国際伝道における法話伝道に関する研究発表

■成績評価の方法■

平常点（80%）　出席状況と演習への積極的な取り組み、研究発表等をもって評価する。

レポート（20%）　期末のレポート内容にて評価する。

■テキスト■

『聖典全書』、『註釈版』、

浄土真宗本願寺派（編）『The Collected Works of SHINRAN』、

聖典翻訳委員会『Letters of Rennyo』、

浄土真宗本願寺派総合研究所『Namo Amida Butsu　世界に響くお念仏』

海外寺院等からの寺報等の発刊物〔書誌情報の詳細は講義にて〕

■参考文献■

参考 URL：浄土真宗本願寺派総合研究所「布教伝道の基礎　法話の作り方」

http://j-soken.jp/category/ask/ask_7/ask_7_2

■履修上の注意・担当者からの一言■

グローバルな視野による、法話の重要性を改めて明らかに会得でき、入門となる。

科目名	国際伝道演習 3	開講曜講時	前期 木５
サブタイトル	国際伝道研究	開講キャンパス	大宮
担当者	嵩　満也	配当年次	3 年次以上
備考			

■講義概要■

国際伝道研究

■目的・ねらい■

国際的な伝道のために必要な応用力を高めることを目指します。この講義では、特に海外開教区での真宗の宗教実践の特徴について学びを深めます。英語文献を読むだけでなく、Web 上の英語の法話などを視聴し、実践的に学んでいきます。

■講義方法■

テキストと必要な教材を適宜こちらで配布し、それらを使って、英文の理解とディスカッションを中心に授業を進めていきます。また、本願寺国際センターから出版されている「*The Collected Works of SHINRAN*」(Vol.1,2) を基本資料として使用します。

■講義計画■

1　～　3　回目　海外開教の歴史と現状
4　～　14　回目　「*The Collected Works of SHINRAN*」の講読
15　回目　プレゼンテーションと講義のまとめ

■成績評価の方法■

平常点（課題・プレゼンテーションなど）・・・・７０％
レポート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３０％

■テキスト■

・*The Collected Works of SHINRAN* (Vol.1,2)
・Alfred Bloom *The Essential Shinran,* World Wisdom, 2007（こちらで、必要な箇所について準備します。）

■参考文献■

必要に応じて、講義中に紹介します。

■履修上の注意・担当者からの一言■

世界の中の浄土真宗について、広い視野から出来るだけ深く知識を持つようにしましょう。

科目名	国際伝道演習４	開講曜講時	後期 木５
サブタイトル	国際伝道研究	開講キャンパス	大宮
担当者	嵩　満也	配当年次	３年次以上
備考			

■講義概要■

国際伝道研究

■目的・ねらい■

前期に続き、国際的な伝道のために必要な応用力を高めることを目指します。この講義では、特に海外開教区での真宗の社会実践の特徴について学びを深めます。英語文献を読むだけでなく、Web 上の英語の法話などを視聴し、実践的に学んでいきます。

■講義方法■

テキストと必要な教材を適宜こちらで配布し、それらを使って、英文の理解とディスカッションを中心に授業を進めていきます。また、本願寺国際センターから出版されている「*The Collected Works of SHINRAN*」(Vol.1,2) を基本資料として使用します。

■講義計画■

1　～　13　回目	英文法話の作成と海外開教区での宗教実践の特徴についてのディスカッション
14　～　15　回目	英文法話の発表と講義のまとめ

■成績評価の方法■

平常点（課題・プレゼンテーションなど）・・・・７０％
レポート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３０％

■テキスト■

・*The Collected Works of SHINRAN* (Vol.1,2)
・Alfred Bloom *The Essential Shinran,* World Wisdom, 2007（こちらで、必要な箇所について準備します。）

■参考文献■

必要に応じて、講義中に紹介します。

■履修上の注意・担当者からの一言■

自分で自分の英語法話の原稿を作りましょう。